

創立72周年  
令和4年度11月号



# 咲かせよう大正の花 つなげよう大正の未来

台東区立大正幼稚園

HP: <https://taito.ed.jp/swas/index.php?id=1380011>



## 異年齢交流で育つ

園長 北村 恵

10月26日の開園記念日に行った同窓会主催のハロウィーンイベントには、園児やそのご家族だけでなく、大正小学校に通う幼稚園の修了生や地域の未就園児の方にも多数お越しいただきました。短い時間でしたが、暖かな日差しの下、簡単な工作やビンゴゲームなどをして、3年ぶりに楽しい時間を過ごすことができました。あちらこちらで記念撮影をしたり、久しぶりに会う保護者同士がおしゃべりを楽しんだりする姿が見られて、開催出来たことを嬉しく思いました。同窓会長の今井様も恐竜の仮装で会場を盛り上げてくださいました。また、お願いをしていなかったにもかかわらず、当日の準備・片付けに大正小学校の副校長先生を始めとした主事さん方がお手伝いくださり大変助かりました。

幼稚園の運動会でも、日曜日にも関わらず、朝早くから校長先生、副校長先生を始めとした先生方や、小学校のPTA役員の皆様が多数お手伝いのために来てくださり、 TENT張りや万国旗付けだけでなく、演技中の用具の準備片付けもお手伝いいただきました。

運動会後の保護者アンケートにも「小学校の先生が皆さんで手伝ってくださったので、準備片付けがスムーズでした」「小学校の先生方の動きが素晴らしかったです」などの感想や感謝の言葉がたくさん書かれていました。

大正幼稚園運動会の恒例となっている、4・5歳児のキッズソーランですが、10年以上前から踊り継いで来ています。これも大正小学校の6年生が伝統として踊っていたものを幼稚園の子供たちも「踊りたい!」ということになり、当時の年長児が小学生から教えてもらったことが、今では伝統となっています。今年の運動会でも4歳児・5歳児が腰をしっかりと落とし、大きな掛け声をかけるソーラン節を披露することができました。今は3歳児が遊びの中で踊っていますが、音楽が聞こえると自然と4・5歳児も集まりかっこいいお手本を見せてくれています。

また、ぞう組が応援団をするために、今年度も6年生から応援の仕方を教えてもらいました。大きな声で応援する団長の小学生の姿に、子供たちはあこがれの視線で釘付けになっていました。お陰で、当日も立派な応援団を皆様に披露することができました。

大正小学校の4年生と4歳児、5年生と5歳児の連携は年間を通して行っているところですが、その時々で、いろいろな学年と交流させていただけることは、園児にとっても大切な成長の機会となっています。同じ施設で生活している利点を最大限に生かしながら、今後も互惠性のある交流を長く続けていきたいと考えています。